

口塗工 整理 No.		14-06		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所					
災害発生場所		製造所 調合場			
災害発生日時		2014年 2月 20日(木) 11時 30分 天候(晴れ) 温度(°C)湿度(%)			
災害区分		不 休 災害		休業災害(休業:△日)	
被災者	部門	製造部門		雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他()	
	年齢	41 歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 23 年	経験年数 22年 11ヶ月
	傷病名	病名 (葉傷)			
	傷病部位	目			
災害発生状況	①大口調合の溶剤抜き出し場にて溶剤を移動式の溶剤抜き出し専用タンクに抜き出すべく(ポンプスイッチはオフ)、僅か(1~2cm)にバルブを開けたところ、溶剤がタンク内に噴出し跳ね返った溶剤が顔にかかった。		状況概略(写真orイラスト) 		
	②被災者はハットグラスを着用していたが、ハットグラスと顔の隙間から溶剤が入った。				
	③被災者が目の不調を訴えたので、医務室で応急処置後に市内の眼科を受診させた。				
	目の洗浄後、点眼薬による治療をし、業務に復帰した。				
災害の型 ^{※1)}		7	作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()		
起因物: 溶剤(タンクからの跳ね返り)		特記事項 特になし			
原因分類	1. 人的要因(man): 特になし				
	2. 物に関する要因(machine): バルブ開閉がスムーズでない、元バルブ閉後の配管内の残圧				
	3. 環境要因(media): 特になし				
	4. 管理的要因(management): バルブ不具合の放置				
対策	1) バルブのステムグランド押さえの緩みが無いように均等にボルトの締め付けを行ない、開閉動作に負荷がかからないように管理をする。⇒(物に関する)				
	2) 溶剤噴出の抑制策として、取り出し口ボールバルブの2次側にスリースバルブを設置した。溶剤流路を狭め、流速を抑える処置を実施した。⇒(物に関する)				
対策分類 ^{※2)} :		1-4、1-5			
備考	類似箇所の摘出: 当該事業所において類似箇所を確認し、横展開。				